

平成26年第8回周南市議会定例会一般質問通告一覧表

(平成26年12月4日～12月9日)

1 立石 修（新誠会）

1 福川漁港福川南町地区漁港用地について

(1) 漁港用地を有効的に活用すべきではないか。

ア 平成16年度に公設市場（福川漁港と青果市場）として建設されたが、建設目的に沿った活用を検討しているのか。

イ 公設市場以外の用途にも活用すべきではないか。

ウ 高潮対策などから用地をかさ上げすべきではないか。

エ 市の管理する防波堤の安全管理は十分なされているのか。

(ア) 防波堤の安全管理マニュアルはあるのか。

(イ) 福川南地区漁港の防波堤に立入禁止のネットが施されており、施錠されているにもかかわらずネットがたびたび破損されるが、その対策を講じているのか。

2 西部地区の学校給食センター建設について

(1) 平成20年7月に策定された計画に沿って建設をするのか。または、計画を変更するのか。

ア 建設開始時期はいつか。

イ 給食センターの数は幾つか。

ウ 建設場所はどこか。

エ 建設コストは幾らか。

オ 管理運営はどこがするのか。

カ ランニングコストは幾らか。

2 岩田淳司（アクティブ）

1 周南市が目指すコンパクトシティについて

(1) 我が市は、国が目指すコンパクトシティとはどういうものと理解しているか。

(2) 我が市のもやい合うまちづくりなどの施策とどうつなぎ合わせていきたいと考えているのか。

2 新たな地方公会計整備と固定資産台帳整備に向けた我が市の進捗状況について

(1) 昨年今ごろ時点の状況から整備状況はどのくらい進捗しているのか。今年度中にどこまで整理するのか。また職員教育の進捗はどうか。

(2) 固定資産台帳の中でも特に整備公開が急がれるものがあるのではないか。

ア 教育委員会庁舎や港町庁舎、上下水道局庁舎等の資産価値を公表することは、新庁舎建設に向けた市民の理解材料の一つになり得るものと考えがどうか。

3 新しい認定こども園制度について

(1) 子ども・子育て支援事業計画の策定進捗状況はどうか。就学前通園施設の利用者ニーズのくみ取り・分析を行い、我が市で進めるべき方向性は定まったか。

- (2) 新しい認定こども園の制度について、利用者となる家庭への周知が徹底され、制度・料金などへの理解が必要と感じているが現状はどうか。
- (3) 新しい制度のもとでは、そこにおさまりきらないニーズなども出てくるかもしれない。それらや新たな提案などにも市として真摯に取り組んでほしいがどうか。
-

3 坂本心次（新誠会）

1 めくもりのある地域の女性雇用について

- (1) 女性の雇用について、どのような問題があるのか。
- (2) 幼稚園、保育所の統合や認定こども園の進捗はどうなっているのか。
- (3) 女性が働きやすいような新しい取り組みはあるのか。
- (4) 中山間地域における女性雇用問題についての認識とその解決方法はあるのか。
-

4 小林雄二（刷新クラブ）

1 「障害者差別解消法」施行に向けた準備状況及び動向について

- (1) この法律は障害者基本法第4条に規定されている「差別の禁止」の基本原則を具体化するものとして位置づけられている。これは、障害を理由とする差別の解消の推進に関して必要な施策を策定し、実施することを地方公共団体の責務として定めたものだが、本市の動向について問う。
- (2) 地方公共団体における職員対応要領はどのように作成するのか。
- (3) 地方公務員の雇用関係における差別の禁止はどのような扱いとなるのか。

2 平成27年度予算編成方針の具現化に向けて

- (1) 予算編成方針に、第2次まちづくり総合計画前期基本計画（素案）に掲げる将来の都市像として「人・自然・産業が織りなす未来につなげる 安心自立都市 周南」が示されている。主要プロジェクトとして以下が掲げられているが、魅力ある周南市としての方向性について問う。

- ア 社会で育む少子化対策プロジェクトについて
 - イ 揺るぎない安心安全プロジェクトについて
 - ウ 自立した地域づくりプロジェクトについて
 - エ まちじゅう賑わいプロジェクトについて
 - オ 産業活力・富の創造プロジェクトについて
 - カ 中山間地域振興プロジェクトについて
 - キ 将来に向けた行財政経営プロジェクトについて
-

5 土屋晴巳（新誠会）

1 交差点（市役所前・文化会館前）の横断歩道の誘導音と南北自由通路について

- (1) 市役所前・文化会館前の交差点の横断歩道の誘導音について提案する。
- ア JR徳山駅では到着音として、まど・みちおさんの「ぞうさん」や「1年生になったら」が使用されている。緑のゾーンに位置し、主な交差点でもある市役所前、そして、文化会館前の横断歩道の誘導音を「ぞうさん」や「1年生になったら」を使用したメロ

ディー式に変えるよう関係機関に提案してはどうか。

(2) 南北自由通路「ぞうさんのさんぽみち」について問う。

ア 「ぞうさんのさんぽみち」というすてきな名前がついているが、現状でそのことを示すものはない。愛され親しまれる施設となるよう命名したはずである。そのための工夫が求められると思うが、どうか。

2 周南市の地域医療について

(1) 本市の地域医療の現状について問う。

ア 医療機能として、「高度急性期」、「急性期」、「回復期」、「慢性期」と分類できるが、現状の医療体制を市としてどのように分析しているのか。

イ 診療体制として、「1次医療」、「2次医療」、「高度医療」の本市の連携状況を市としてどのように評価しているのか。

ウ 現在は「地域完結型」の医療体制に移行している。そのかなめとなる病・病連携、病・診連携の現状について市としてどのように評価しているのか。

(2) 本市の「医療」と「介護」の連携について問う。

ア 医療と介護の連携は必須であるが、市が目指す連携のあり方、姿はどのようなものか。

(3) 地域医療の充実に向けた取り組みについて問う。

ア 市民アンケート調査（平成25年5月実施）では、今後の重要度について「病院等の医療体制」が1位となっている。この市民の思いを市としてどのように受けとめているのか。

イ 今後、県においては2025年を目指した地域医療構想（ビジョン）（地域医療提供体制のあるべき姿）を医療計画において策定することになるが、市としては何らかのビジョンは示さないのか。

ウ 地域医療の充実、市単独では難しい。関係団体・機関の協力はもちろん、市民の理解も必要である。そのためには、市や市民そして医療機関の責務を定めた、「地域医療を守る条例」（仮称）を制定する考えはないか。

6 田村隆嘉（刷新クラブ）

1 ふるさとスローツーリズム推進事業について

(1) 事業開始からこれまでの取り組み状況は。

(2) 周南学びの旅推進協議会について問う。

ア 協議会の構成及び役割は。

イ 活動状況は。

(3) 今後の事業展開について問う。

ア 受け入れ目標は。

イ PR、誘致の方法は。

ウ 受け入れ対象は。

2 市政への市民参画について

(1) 市民参画の取り組みについて問う。

- ア 実施状況及び課題は。
 - イ 市民参画の手法は適切に選択されているか。
 - ウ 新たな手法の採用は。
- (2) 「こども議会」について問う。
- ア 開催の目的及び成果は。
 - イ 参加者の感想は。
 - ウ 継続しての開催は。

7 長嶺敏昭（参輝会）

1 新駅ビル完成後の経済効果について

- (1) 事業の経済効果は、特定業者だけでなく、初期投資、運営経費に見合う富をこの街にもたらすのか。事業への自信とともに責任の所在を明確にすべきと思うがどうか。
- (2) 新駅ビルの維持管理費、運営管理費（指定管理料）はおよそ幾らになるのか。また、経済効果との収支バランスはどうか。
- (3) 市への歳入見込み額の試算について問う。
 - ア テナント料（書店ほか）
 - イ 広告収入（ネーミングライツなど）
 - ウ 駅ビル屋上の活用の計画が見えない。収入につながることを考えるべきと思うがどうか。
 - (ア) 設計者のコンセプトより施主たる周南市の政策に沿った施設でなければならない。屋上は、軽量ドーム式のイベント・コンベンション会場にしてはどうか。
 - (イ) にぎわいの創出のため、大型LEDディスプレイやスクリーンによる映画館、パブリックビューイングやサテライト放送局などの仕掛けをしてはどうか。
- (4) 歩いて暮らせる町には、生活交通網が重要だ。「ぐるぐるバス」は早々に廃止したが、新たに商店街や駅ビルへ市民を誘導する交通システムが必要ではないか。

2 前例にとられない若者定住政策について

- (1) 都市周辺部においては、住宅困窮者のための公営住宅という概念だけではなく、若者定住に視点を置き、子育て世代、共働き世代の流出を防ぐ他市にない周南市独自の住宅政策が必要ではないか。
- (2) 中山間地域においては、豊かな自然環境の下での子育てのために、遊休市有地の無償提供や魅力的な生活提案による若者定住団地整備を行うことで、わずか数世帯の移住でも周辺部の活力の維持、学校教育を守ること、さらには税収増につながるのではないか。
- (3) 場所を選ばない働き方ができる企業の誘致や仕事を持った移住者の誘致という戦略を持った移住促進を進めてはどうか。（例えば、徳島県神山町のサテライトオフィス、ワークインレジデンス、アーティストインレジデンス）
 - ア 過疎債の活用によりITインフラ整備の促進などを誘致の目玉にしてはどうか。
 - イ 空き家情報にも具体的な生活や仕事に提案力のあるものを配信してはどうか。

ウ アーティストを一定期間招聘しての住民との製作交流や、作品展示はアーティストのネットワークの全世界への広がりとともに、話題性や交流人口増につながると思うがどうか。

- (4) 「前例がない」、「難しい」などの言葉でアイデアを破壊する組織や人の弊害は逆に時代を回すチャンスである」。この提言をどう思うか。

8 相本政利（公明党）

1 市道の安全管理について

- (1) 道路下の空洞化点検について問う。
- ア 空洞化調査の実施方法についての検討状況は。
- イ 今後の調査箇所や頻度を含めた調査計画は。
- ウ 異常発見時の対応方法の検討は。

2 消費者行政の充実について

- (1) 本市の消費生活事業について問う。
- ア 消費生活センターへの相談件数の推移及びその内容は。
- イ 特に高齢者の被害内容はどのようなものか。
- ウ 被害内容を分析した消費者教育になっているか。また、その教育内容や開催頻度は。
- エ 庁内関係部署等との消費者教育や見守りの連携状況は。
- オ 消費者教育の推進計画はあるのか。

9 友田秀明（周南会）

1 道の駅ソレーネ周南について

- (1) 直近の集客や売上状況はどうか。
- (2) 指定管理料は高過ぎではないのか。

2 合併処理浄化槽の個人負担額について

- (1) 下水道利用者と合併処理浄化槽利用者の個人負担額の格差の是正策は進んでいるのか。

3 帝人株式会社徳山事業所の閉鎖について

- (1) 税収や失業者、関連事業所等を含め市への影響はどのようなものを想定しているか。
- (2) 市としての対策は。

4 少子化、子育て支援について

- (1) 市としてどのような施策をしているのか。また、その効果は。

10 青木義雄（参輝会）

1 工場夜景サミットについて

- (1) 10月25日ののんた祭において第5回全国工場夜景サミットin周南が開催された。どのような成果が得られたか。

2 スポーツ行政について

- (1) 成功と感動の山口国体から3年が経過しようとしている。国体後いかにその成果をつなげていくかが大事であるが、その取り組みを問う。

(2) 文化スポーツ課を地域振興部に移して何がどう変わったのか。

3 ねんりんピックについて

(1) 平成27年に山口県で第28回ねんりんピックが開催される。周南市の進捗状況を問う。

4 総合防災訓練について

(1) 11月16日に全市民参加型の周南市総合防災訓練が開催された。どのような成果があったか。また、どのような教訓や課題が浮き彫りとなったのか。

5 徳山駅について

(1) 3月のダイヤ改正で徳山駅停車ののぞみが増発された。これにより利用者数にどのような変化があったか。

(2) 9月に南北自由通路が供用開始となったが、南北の人の流れはどのような状況か。

6 榑浜久米線について

(1) 3月に待望の都市計画道路榑浜久米線が開通した。その後、交通量はどう変わったのか。

(2) 経済効果をどのように考えているか。

7 道の駅ソレーネ周南について

(1) オープンして半年が経過した。企業に例えるなら上半期が終了したことになる。この半年間をどのように総括するのか。

1 1 兼重 元（新誠会）

1 周南市の将来ビジョンをどう描くのか

(1) 合併後11年が経過し、次期まちづくり総合計画へ移る今、現実直視が求められるが、以下について問う。

ア 人口減少を食いとめるための施策は何か。

イ 産業基盤整備は不可欠だが、今の港湾整備計画をどう捉えるか。

ウ 中心市街地活性化基本計画はどうか進展するのか。

エ 新庁舎建設計画が着実に進んでいるが、以下について問う。

(7) 新庁舎建設と総合支所の位置づけは、地域意識と密接に絡むが、いかがか。

(4) 公共施設再配置計画の円滑な進捗のための必須要件とは何か。

1 2 金子優子（公明党）

1 地産地消の推進について

(1) 周南市地産地消促進計画の現在までの取り組み状況と成果を問う。

(2) しゅうなんブランドについて

ア ブランド認定までの行政の取り組みは。

イ ブランド品の全国発信への具体策は。

2 元気子ども総合相談センターの取り組みについて

(1) 本年度の電話、面接等の相談件数は。

(2) 主な相談内容は。

(3) 今後の方向性は。

3 通学路の安全対策について

- (1) 緊急合同点検での危険箇所について、市以外で対応する箇所の進捗状況を把握しているか。
 - (2) 来年度以降の点検予定は。
 - (3) 通学路の危険箇所に、曇らないカーブミラーの設置を検討してはどうか。
-

1 3 金井光男（公明党）

1 3D-CAD利用について

- (1) 3D-CAD（3次元コンピュータ利用設計システム）によるまちづくりや防災データ等の利活用については、調査研究の価値があると思うがどうか。

2 業務継続計画（BCP）について

- (1) 業務継続計画（BCP）策定の進捗状況を問う。
 - ア 本庁及び港町庁舎等各分庁舎は。
 - イ 各総合支所及び支所は。
 - ウ 学校等教育施設は。
 - エ 上下水道局は。
 - (2) 情報通信技術部門の業務継続計画（ICT-BCP）の進捗状況を問う。
-

1 4 福田健吾（新誠会）

1 市長の考えを問う

- (1) 人口増加（自然増、社会増）させるための考え方は以前に聞いた。新年度予算編成に当たり定住施策と子育て支援に重点を置くとのことだが、具体的な指示を出したのか。
 - ア 新たな定住施策とは。
 - イ 新たな子育て支援策とは。
 - ウ 不足額は全体でいくらか。（新年度予算）
 - (2) 地方創生は各市町村のやる気が重要であることは国も言っている。我が周南市はどういったことでアピールし、国から支援を受けようと考えているのか。
 - (3) 教育現場における施設整備について。（小中学校）
 - ア 現状でよいと思うのか。
 - イ 現状の課題をいかに解決していくのか。
 - ウ 設備については、公立が圧倒的におくれているが、それについてどう思うか。
-

1 5 吉平龍司（公明党）

1 電子自治体の推進施策について

- (1) 自治体クラウドについて問う。
 - ア 安心安全で効率的な行政運営を可能にする手法として評価されているが、調査・研究の現状は。
 - イ 災害に強い電子自治体の構築が急がれると考えるがどうか。
- (2) 電子入札の導入について問う。

ア 入札業務の大幅な効率化と入札参加における時間的拘束の排除などにより経費縮減と行政サイドのプレッシャーによる人為的ミス排除が効果として期待できると思うが、検討時期に来ているのではないか。

イ さらに競争性、公正性、透明性の高い入札制度の構築に向けて効果検証をしてはどうか。

2 生活交通活性化の対応について

(1) 市の生活交通活性化事業では、高齢者の外出支援サービスについて研究・検討の取り組みがされていると認識をしているが、現状はどうか。

(2) バス・タクシー等の利用助成券を交付する高齢者外出支援助成事業が先進地では開始されたとのことだが、本市も研究・検討時期に来ているのでは。

3 徳山駅前広場について

(1) 徳山駅前バス降車場から南北自由通路等へのアクセスの改良はできないのか。

16 福田文治（参輝会）

1 日本一きれいなまちづくりについて

(1) 昨年12月、日本一きれいなまちづくりを目指すべきと提案したが、その後の取り組みはどうか。

(2) 人や自然に優しい快適な道路環境をつくるため、行政と住民のパートナーシップでつくる「アドプト・ロード・プログラム」の活動状況は。

2 福川地区の活性化について

(1) 福川駅南側線路沿いの緑地帯（企業保有地）の活性化について、企業との話し合いの進捗状況は。

17 中村富美子

1 介護保険制度の改定によるサービス切り捨てについて

(1) 安倍・自公政権は、医療・介護総合法を強行した。多くの高齢者を介護サービスの対象から除外し、入院患者の追い出しをさらに強化し、国にとって安上がりな医療・介護提供の体制づくりを進めようとしている。

ア 特養入所を、原則要介護3以上にするが、申し込みができなくなるということか。現時点の入所者はどうなるのか。

イ 低所得者を対象とした施設の居住費・食費負担に対する軽減制度（補足給付）は、縮小・打ち切りされると聞いているが、どういう状況か。

ウ 利用料の2割負担（2015年8月）が検討されている。利用抑制につながるがどう考えているか。

(2) 要支援者の訪問介護・通所介護を保険給付から外し、市が実施している地域支援事業に移行する。これは安上がりのサービスへの流し込みや、要介護認定を受けさせない水際作戦、介護サービスからの卒業作戦が準備されており、介護給付費の抑制を図るように市町村に求めている。

ア 要支援者の実態調査はしているか。

イ サービスの切り捨てとなり問題点が多い。2年間の実施延期が可能だが、どう考えているか。

ウ 専門職による現行のサービス水準の維持をすべきではないか。

2 ごみ燃料化施設の廃止について

- (1) 今年度で廃止となるが、建物はどうするのか。
- (2) 平成24年度から、周南全域の個人搬入が開始され、サービスがよくなったと市民も喜んでいて。施設の廃止により、サービス維持はどうか。

3 図書館について

- (1) (仮称) 学び・交流プラザ内の図書館の視聴覚教室を、図書館関係者には利用させない方向と聞くがなぜか。
- (2) 第3回徳山駅周辺まちづくりシンポジウムのアンケートについて、「図書館の専門家を交えた分析をしてほしい」、「図書館としてきっちり機能するものにしてほしい」、「図書館は丁寧に考えてほしい」、「カジュアルな図書館は直営でもできるのでは」等の意見があったが、これらの声をどう受けとめているか。

18 長谷川和美（周南会）

1 学校給食はおいしいか

- (1) 各学校給食センターの現状について以下を問う。
 - ア 食数は。
 - イ 調理、配送は。
 - ウ 食材の納入方法は。
 - エ 食材等をチェックする検収体制は。
 - オ 前日調理をしているかどうかのチェック体制は。
 - カ 残菜率は。
- (2) 今年10月に外国からの輸入食材が多種多様に使われている実態を、メディアが問題視したが、本市の外国製品の利用状況は。
- (3) 納入野菜の残留農薬や放射能汚染、さらに食肉の異臭等、学校給食の食材として不適切なものの検査や処分をしたことはあるか。
- (4) 学校給食が抱える課題は何か。
- (5) おいしい学校給食への取り組みの方向性は。

2 市民館解体後の市民活動について

- (1) 市民の活動が困難になるのではないか。

3 教育政策課施設担当の環境整備員について

- (1) 環境整備員の現状について以下を問う。
 - ア 人数、年齢、業務担当校数、報酬は。
 - イ 勤務条件と、そのチェック体制は。
 - (ア) 車両、燃料
 - (イ) 勤務時間

(㊦) 材料費等

(㊧) 仕事の内容

- (2) 環境整備員と学校教育法施行規則にある学校用務員との違いは。
- (3) 幼稚園、小学校、中学校、教職員住宅の環境整備を担う環境整備員の課題は何か。
- (4) 学校用務員の人件費は、地方交付税の算定基礎には各学校何人分が算入されているのか。
- (5) 若者や高齢者の雇用の場として、各校に学校用務員を置くべきではないか。

19 伴 凱友（周南会）

1 本庁舎の建てかえについて

- (1) シンボルを求める建築でなく、住民の目線での庁舎建設へ向けて根本的な再考を。
- (2) 縦割り行政の弊害を最小限にする庁舎を考えれば、支所・総合支所の役割が飛躍的に向上するのではないか。

2 入札制度について

- (1) 工事関係の入札で、平成22年度から実施した予定価格事後公表の成果はあったのか。
- (2) 工事関係の入札で、昨年度に比べ本年度の落札率が上昇しているが、その背景は何か。
- (3) 本年10月8日に実施した道路舗装工事の入札では、応札9者全員が、2,137万2,995円で同額であった。こういうケースについてどう考えるか。
- (4) 学校の印刷機の賃貸借契約の1円入札について、平成24年12月議会で質問したが、状態は改善されているか。

3 非正規職員の待遇について

- (1) 正規職員と非正規職員の給与格差について、平成20年3月議会で、同じ仕事をしながら、正規職員の3分の1以下で働く嘱託職員の待遇の改善を求めたが、その後どうなっているか。

20 島津幸男（周南会）

1 市民に丁寧に説明し、納得していただく市政運営を

- (1) 新しい市役所建設について問う。
 - ア 庁舎建設積算根拠は。
 - (㊦) 80億円の積算根拠は。
 - (㊧) そのほかの14億円の積算根拠は。
 - (㊨) 上下水道局拠出の9億円の算出根拠とその必要性は。
 - イ 上記積算に含まれていない事項は。また、その費用は。
 - (㊦) 旧近鉄松下百貨店の改修費用は。
 - (㊧) 市民館の解体費用は。
 - (㊨) その他の費用は。例えば、維持管理費用や駐車料、クロガネモチ等の根回し移植費用は。
 - ウ 市民館の保存は。（1万4,420人を超える市民の署名に対して）
 - エ 来年3月、根回し、切断見込みのクロガネモチの現在の場所での保存は。

- (2) バルク港について、徳山港が2次港、下松港が1次港になった経緯と、その経済的影響は。
 - (3) 新駅ビル入居候補のCCCに対して、指定管理料の額は。
 - (4) 貧困児童の実態と対策は。
-

2 1 西田宏三（周南会）

1 教育長就任3年半経過後の理想と現実について

- (1) 周南市には、小学校30校、中学校16校あるが、建物、トイレ、遊具等の設備整備の状況は。
 - (2) 家庭教育と学校教育の違い、家庭教育の必要性をPTAと連携し推しはかっているのか。
 - (3) 放課後子ども教室の将来の展望は。
 - (4) 周南市独自の学校運営はどのような形がよいのか。防府市では、小中一貫教育を行っていると聞いているが、どのように感じているか。
 - (5) 学校においては、知識や社会人としての価値の共有を教えることが必要である。反面、目に見えない形・言葉であらわすと、道徳社会を形成する人間として、身につけなければならないことの訓練が必要と思うが、教育長はどのように思われ、対処しているのか。
-

2 2 古谷幸男（参輝会）

1 新徳山駅ビル建設について

- (1) 現徳山駅ビルの解体費は幾らか。
 - (2) 底地の買収費、新駅ビル、駐輪場、駐車場の各建設事業費、総事業費は幾らか。
 - (3) 新徳山駅ビルに導入しようとする図書館の指定管理者はCCCを予定しているのか。
 - (4) 新徳山駅ビルの図書館の来館者目標値は、幾らと想定しているのか。
 - (5) 指定管理料は武雄市が年間1億1,000万円と聞いている。そのことから新徳山駅ビルの図書館は1億5,000万円から2億円余りと推定するがいかがか。
 - (6) テナント料の考え方はどうなるのか。
 - (7) 新徳山駅ビルに図書館を導入するが、中央図書館の年間の運営維持管理費並びに（仮称）学び・交流プラザの図書館の年間運営維持管理費は、それぞれ幾らか。
 - (8) 新徳山駅ビルの図書館から中央図書館まで約700メートル、（仮称）学び・交流プラザ図書館まで約5.5キロメートルである。公共施設再配置を打ち出したことからと矛盾をしていると思うがいかがか。
 - (9) 徳山駅周辺の商店街への人の回遊性は、どのように考えているのか。
-